

第2回 市川市社会福祉審議会	議題(1)-②
令和2年8月7日(金)	説明概要

資料の説明

第7期 市川市高齢者福祉計画・介護保険事業計画の進捗状況について

1. 評価指標の構造 について

本計画の基本理念を実現するため、本市の取組みの進行管理及び結果評価については、「主要施策」ごとに位置付けた「重点事業」に、計画期間内の評価指標とその年度目標を設定しています。さらに、重点事業の実施により生じた「アウトカム（成果）」を、測定・分析するために、計画期間内の評価指標とその目標を設定しています。

(1) 事業別実績及び評価一覧

毎年度、重点事業ごとに進捗状況の確認と評価を、P D C Aサイクル（計画→実行→確認→改善）に沿って実施します。また、「推進体制」と「3つの基本目標」ごとに、各事業の結果評価を合計し、計画全体の目標達成度を測っています。

(2) アウトカム（成果）

年度ごとの目標を定める指標については毎年度、計画期間内における目標を定める指標については当該指標の進捗状況を測定する年度において、進捗状況の確認と評価分析を行い、課題の抽出を行っています。

評価指標の構造と報告範囲 ⇒ 資料②-1

重点事業と評価一覧 ⇒ 資料②-2・②-3

中間アウトカム評価 ⇒ 資料②-4

2. 事業別評価及び中間アウトカム評価について

事業別評価については、基本目標3「住まい」以外は、90%以上の目標達成度となっています。

一方で、「中間アウトカム」については、「② 多職種連携の実現」「⑤ 相談及び支援基盤の構築・強化」「⑦ 高齢者の状態に合った支援の実現」は概ね指標を達成できている状況ですが、「① 高齢者の健康づくり・介護予防の取組の推進」「④ 多様な担い手や社会資源の確保及び育成」「⑥ 要介護状態の予防・重度化防止の実現」「⑧ 地域での支えあい、認めあう仕組みの構築・円滑な運営」は、指標に到達していません。

指標に達していない各項目については、以前より改善した項目や、ほぼ指標に近い項目もありますが、悪化したり、指標に大きく届かない項目もあり、計画策定に向けて、留意する必要があります。